

吉川尚宏著「ガラパゴス化する日本」講談社現代新書、講談社 2010年2月20日刊を読む

ガラパゴス化とは何か？

## 1. ガラパゴス化とは何か？

- (1)ここに一枚の写真がある。いまの日本は、この写真のイグアナのようになっている。それが何を意味するのか、どうしてイグアナのような状態がよくないのか、その状態から脱却するには何をすべきかが本書の主題である。
- (2)2009年はダーウィン生誕 200年にあたる年だった。そのダーウィンが進化論を着想することになる航海で立ち寄ったのがガラパゴス諸島である。ガラパゴス諸島は南米エクアドルの西方の南太平洋上の沖合約 900 キロにある火山性の島々で、独自進化した動物、たとえばガラパゴス・イグアナ、ガラパゴス・ゾウガメ等が生息することで有名である。独自の進化を遂げた生物は、外から入ってくる外来種の攻撃には極めて弱い。世界遺産にも登録され、独自進化した動物の種が絶滅しないよう、厳重な自然保護対策がなされている。
- (3)ガラパゴス・イグアナに代表されるように、ガラパゴスに棲む多くの動物は一見すると<sup>どうもう</sup>獐猛でグロテスクな様相をしているが、じつは大半は草食動物であり、陸に棲む哺乳類はほとんどいない。もし肉食動物であったならば、これほど長くの期間、動物が独自進化することはなく、互いを捕食しあって、すぐに絶滅していたであろう。
- (4)さて、こうしたガラパゴス諸島の様相はどうも昨今の日本の状況と似ている。ここでは産業面、地域面、ライフスタイル面の3つの側面から、いまの日本との類似点をみてみよう。

## 2. 日本製品のガラパゴス化

- (1)日本企業がつくりだすモノやサービスが海外で通用しないことを、本書では「日本製品のガラパゴス化」、あるいは製品をつくりだしている企業側にも要因があるという意味で「日本企業のガラパゴス化」ということにする(実際に製造される場所が海外であっても企画・開発など、コア業務が日本で行われている場合も日本製品に含めるものとする)。
- (2)携帯電話端末はその代表例であり、目の肥えた日本人向けに、非常に高度で洗練された端末が開発・販売されているが、こうした商品は日本以外では通用しない。そのため世界市場における日本製品の市場占有率が極めて低い。日本企業がつくりだすモノやサービスが独自進化しすぎたゆえに海外では通用しないという点では、ガラパゴス諸島の動物と似ている。

### 3 . 日本という国のガラパゴス化

ガラパゴス諸島の場合には、南米大陸からガラパゴス諸島に向かった海流が流れているため、いったん、ガラパゴス諸島に流れ着いた動物は、なかなか南米大陸に戻ることはできない。それと同様、日本という国が孤立し、鎖国状態になることを「日本という国のガラパゴス化」という。日本の中でも特に地方は海外との接点に乏しく、財政的な面でも東京依存体質が抜けない。さらに、地方だけでなく、東京も含め日本全体が鎖国状態となるリスクをはらんでいる。

### 4 . 日本人のガラパゴス化

(1)日本では若い人を中心に、海外旅行や海外での勤務・生活を敬遠する傾向が現れてきている。また最近「草食系男子」という言葉が登場してきているが、まるで草食動物のように、がつつしな新世代の男性も多く見られるようになった。草食動物が多いガラパゴス諸島の動物に似ているという点で、外に出たがらなくておとなしい日本人の傾向を、「日本人のガラパゴス化」という。

(2)これら 3 つのガラパゴス化を総称して、本書では「ガラパゴス化現象」、または「ガラパゴス化」と呼ぶことにする。

特に「日本製品のガラパゴス化」について言えば、過去の日本企業の成功体験が通用しなくなっていることに多くの企業関係者が戸惑いを感じている。

かつては日本という消費者の厳しい視線に晒される市場で勝った日本製品は、海外市場でも通用するといわれた。また国内に一億人の市場が存在することによって規模の経済性も追求できた。ところが最近、その成功のルールが通用しなくなっている。逆に日本独自のビジネスルールや商慣習が、海外とは異質な市場を生み出しているのではないかという不安に関係者は駆られている。

(3)日本製品のガラパゴス化現象は、以下のようなプロセスで進んでいく(野村総合研究所)

高度なニーズに基づいた財・サービスの市場が日本国内に存在する。

一方、海外では、日本国内と異なる品質や機能を求められる市場が存在する(往々にして、それらの品質や機能は日本国内で求められるものよりも低い)

日本国内の市場が独自の進化を遂げている間に、海外諸国では異なるスタンダードが普及していく

気がついたときには、世界の動きから大きく取り残されている

P17 ~ 21

#### [コメント]

ガラパゴス化、ガラパゴス化とさかんに言われているが、その本質が本書でよく理解できる。どうガラパゴス化を防ぐことができるか、生存を懸け力を結集、知恵を振り絞り、戦略的に取り組む以外ない。

- 2010年5月26日 林明夫記 -